



例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

R.I テーマ

TEL:0263(73)2901 FAX:0263(72)3181 E-mail: azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会 長 小穴 実 幹 事 中村 忠

R.I 会長 ステファニー・A・アーチック ガバナー 白鳥敬日瑚

中信第一グループガバナー補佐 柴田博康

クラブ標語



【掘り興そう地域の宝(人脈)を、育もう仲間の連帯を!】

《水と衛生月間》

★ 配布 ・幹事報告 No.26 ・Rの友 3月号 ・月信 3月号

★ 国歌・ロータリーソング ・君が代 ・奉仕の理想

★ ゲストのご紹介

・松本ロータリークラブ幹事 宮坂昌樹様

・米山奨学生 于漫萱様

★ 会長挨拶

【小穴実会長】

皆さんこんにちは!

今年は随分寒をしていましたが、月曜日から春先の湿気の多い雪となっています。

月曜日の雪かきの筋肉痛が最高潮のところに来て、今朝もしっかりと重い雪を手掻きで済ませましたので、筋肉痛で大変です。

誰かサロンパスを2・3枚貼ってください(政治系 YouTuber の決め台詞風に)。

雪の前にいくらか雨が降りましたが、連続して 38 日間ほど降水量が記録されていなかったとかで畑の特に玉ねぎ農家さんが玉ねぎの苗が乾いてしまっして生育に影響が出ていたようです。6月の玉ねぎ祭りに影響が出ない様、この雪が乾いた畑に恵みの降水となってくると良いのですが…。週末までに暖くなり、また来週寒の戻りがあるようです。このように三寒四温を繰り返して春となっていくますが、来月の観桜会の頃には、まさに桜が咲くこととなるでしょう。

本日ゲストでお見えの于漫萱さん、通常例会出席は最後となります。1年間松本から豊科まで良く通っていただきました。次回の梅風閣での米山奨学生歓送会で最終となりますが、日本企業への就職も決まっているようですので、たまには遊びにお越しください。



さてもう一方、松本ロータリークラブの宮坂昌樹幹事さんがお越しです。米山奨学生のサポートクラブの幹事さんと言う事で于さんの最終卓話に臨席されるのでお見えになっております。よろしく願いいたします。歓送会には松澤会長がお見えになると言う事ですが、こちらも重ね重ねよろしく願いいたします。

例会の後、クラブ協議会、理事会と重要案件をいくつか控えておりますので、簡単ではありますが以上会長挨拶とさせていただきます。

それでは、本日もよろしくお願いいたします。

★ 幹事報告

【中村忠幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 18 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(2月19日修正出席率)
出席者: 7 名	欠席者: 8 名
欠席者: 10 名	メ・キャップ: 3 名
出席率: 41%	出席率: 72%



★ ニコニコ BOX 報告(敬称略)

松本 RC 宮坂幹事: 今日はお招きいただき有難うございます。他クラブ様の例会に参加させていただくことは、とても楽しいことですので宜しくお願いします。

小穴: 春先の重い雪に筋肉痛です。松本ロータリークラブの宮坂幹事、于漫萱さんの卓話 宜しくお願い致します。

中村: 松本 RC 宮坂幹事ご苦労様です。
于漫萱卓話よろしくお祈りします。

下里: ゲストをお迎えして

笠原: 雪の中、ご苦労様です。

濱: 于さん今日は卓話宜しくね!!

又、松本ロータリークラブ宮坂幹事 ようこそ!!

藤森(康): 米山奨学生サポートクラブとして松本 RC 宮坂幹事をお迎えして、一年間お世話になりました。
〔計 7 件 16,000 円〕



今年度のニコニコ BOX 計 420,500 円



【 下里 SAA 委員長 ・ 濱プログラム委員代理】



【 小穴会長から于漫萱さんに奨学金贈呈】

★本日のプログラム

米山奨学生卒業卓話

【于漫萱さん】

奨学生としての一年間の報告書

・はじめに

この一年間、奨学生として過ごした日々は、私にとってかけがえのない経験となりました。日本での生活や学業を通じて、多くの新しい出会いがあり、挑戦し、成長する機会をいただきました。そして、嬉しいご報告があります。

私は先週、**Casa Loewe Ginza** への配属が決定しました!奨学金の支えがあったからこそ、全力で就職活動に取り組むことができました。

本報告書では、この一年間の主要な出来事を振り返り、それぞれの経験から得た学びを記録し、感謝の気持ちを綴らせていただきます。

春:奨学生としてのスタートと就職活動

春は、新しいスタートの季節でした。奨学生としての活動が本格的に始まり、日本社会の一員としての自覚を持つようになりました。同時に、就職活動にも本格的に取り組みました。

この期間、私は何度も東京を往復し、面接の準備に全力を注ぎました。自己分析を深め、自分がどのような価値を提供できるのかを明確にするために努力しました。

幸いにも、奨学金のおかげで、アルバイトをせずにこの大切な時期を就職活動に専念することができました。準備を十分に整え、短期間で内定を獲得できたのは、この支援があったからこそです。この結果に至るまで、支えてくださった皆様に、心から感謝しています。

夏:紀伊勝浦・白浜旅行 ― 特別な非日常体験

夏には、学業と就職活動の忙しさから少し離れ、紀伊勝浦と白浜への旅行を楽しみました。台風警告が出たのせいで、特急が運休していたため、すべての観光地は人が少なく、ワンマン電車でゆっくりと移動することになりました。車内の乗客はみな穏やかに居眠りをしていましたが、車窓からの景色はとてとても美しく、非日常的な静けさを味わうことができました。

白浜では、落日と日の出の両方を堪能することができました。海辺で婚紗撮影をしているカップルを見かけ、その幸せな光景に心が温まりました。また、熊野古道を歩いているとき、私が息を切らせているのを見た日本人のおじいさんが、バスの時刻表を手渡し、「頑張って!でも無理しないでね」と優しく声をかけてくれました。その言葉に励まされると同時に、人の温かさを改めて感じ、心に深く刻まれる旅となりました。



この旅行は、まさに「特別な非日常体験」でした。自然の美しさと人の優しさに触れ、心が豊かになる時間を過ごすことができました。

秋:EJU 日本語教師アルバイト ― 使命感

秋には、日本語教師としてのアルバイトを始めました。私が担当したのは、日本の大学進学を目指す留学生のためのEJU(日本留学試験)対策授業でした。EJUは、私自身がかつて日本の大学に合格するために受験し、信州大学での留学生生活をスタートさせるきっかけとなった試験です。

そのため、このアルバイトには特別な思いがありました。受験生たちが日本語を学び、夢を叶えようと努力する姿に、自分自身の数年前の姿を重ねながら、少しでも力になりたいという気持ちで授業に臨みました。試験対策だけでなく、自分の経験談を交えながら「合格した先には、素晴らしい未来が待っているよ」と励まし、彼らの不安を少しでも和らげられたらと思いました。

冬:卒業論文

冬には、修士課程の集大成として、卒業論文「非典型労働形態における性別格差 -日本と中国の比較分析」を執筆しました。日本と中国における非典型労働形態における性別格差を比較し、労働市場におけるジェンダーの問題について深く考察しました。

論文を書くうちに、多くの文献を読み込み、データを分析し、何度も推敲を重ねました。時には行き詰まりを感じることもありましたが、指導教員の先生方や研究仲間の助言のおかげで、最後までやり遂げることができました。特に、研究を通じて日本と中国の労働環境の違いや、社会の仕組みがどのように個々のキャリアに影響を与えるのかを深く理解することができました。

・おわりに

この一年間は、私にとって人生の大きな転機となりました。学業に励みながら、社会に出るための準備を進め、多くの方々と関わることで、新しい視野を広げることができました。この一年間、あづみ野ロータリークラブの皆様と出会い、共に過ごすことができたことを心から光榮に思います。一緒にたくさんの美味しい食事を楽しみ、語り合い、かけがえのない思い出を作ることができました。これらの経験は私にとって非常に貴重であり、一生忘れられないものとなりました。ロータリアンの皆様、特にカウンセラーの藤森さん心から感謝申し上げます。

これからは、就職先での新たな挑戦が待っています。この一年間で学んだことを活かし、日本と母国との架け橋となるよう努力していきます。感謝の気持ちを忘れず、これからも成長し続けていきたいと思っています。

最後に、改めて、感謝申し上げます。

この一年間本当に、ありがとうございました。

米山奨学生交流クラブ幹事ご来訪

松本ロータリークラブ幹事【宮坂昌樹様】

